

広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

招 集

令和3年3月22日（月）午後1時 議場

出席委員（7名）

（委員長）岡 村 英 治 （副委員長）矢田貝 香 織
安 達 卓 是 尾 沢 三 夫 門 脇 一 男 田 村 謙 介
土 光 均 前 原 茂

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 佐藤議事調査担当係長

傍 聴 者（0名）

協議事件

- ・市議会だよりについて
- ・議会報告会等について
- ・その他

~~~~~

### 午後1時00分 開会

○岡村委員長 ただいまから広報広聴委員会を開会いたします。

初めに市議会だよりについて協議いたします。

まず、市議会だより第65号の表紙の選定について、事務局からの説明を求めます。

佐藤係長。

○佐藤議事事務局議事調査担当係長 では、資料としてお配りをしておりますカラー写真が付いたものですね、資料1のほうを御覧ください。6月1日発行号が、このたび御覧のとおり6点応募がございました。また、この後御協議いただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。何かご不明な点等ございましたら、分かる範囲でお答えいたしますのでよろしくお願いいたします。以上です。

○岡村委員長 事務局から説明をいただきました。6点応募がございますけども、まずこの6点について、皆さんのほうから御意見なりありましたら。

門脇委員。

○門脇委員 事務局にちょっとお伺いしますけど、この3番ですね、地図が横顔になっている分なんですけど、これって掲載するとなったら、この地図の許可みたいなのを取らないといけないんじゃないかと思えますけど、その辺は大丈夫でしょうか。確認してなかったら、确实じゃなくていいですけど。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議事事務局議事調査担当係長 すみません、確認はしてないんですけど、Googleとか書いてあるので……。どういう扱いになるのかちょっとここでは分からないですね。

○岡村委員長 門脇委員。

○門脇委員 もし、採用になってこれってなると、許可がいるんじゃないかなと思ったりするんですけど。

○岡村委員長 もし、採用されたとしましたら、その許可の云々かんぬんも含めてそれは、たぶん確認していかなければならないというふうに考えますけども。

○門脇委員 はい。

○岡村委員長 そのほか、皆さんのほうからありませんでしょうか。

土光委員。

○土光委員 5番の水面に映える大山、これ、どこから撮っているのか。この水面は何の水面なんですか。日野川、それしかないよね。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 御応募いただいた方が、解説を書いておられまして、日野川河口皆生温泉側から望む雪景色した秀峰大山、と。以上です。

○岡村委員長 前原委員。

○前原委員 1番の米子城なんですけども、この説明をお願いしたいなと思います。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 こちらを応募いただいたのはかもめ幼稚園さんです。かもめ幼稚園さんで、特にそのほか何かこれについての説明というのはございませんので、ちょっと分かりかねますが。

○岡村委員長 前原委員。

○前原委員 たぶん、右のところ写っているのは、甲ちゅうというか、よろいかぶとの武士であって、天守閣が2つあるという形を表しているのかなと思うんですけども。もう少し画像がよいとよく分かるんですけども。あと、手前の石は石垣なのかなと、いうことを表しているのかなと推測されます。

(「石垣って書いてあります。」と矢田貝委員)

あ、書いてありますか、失礼しました。

○岡村委員長 そのほか、ございませんか。

土光委員。

○土光委員 6番の、これ紫陽花だよ、はがきと書いてるのは、はがきで基本的には絵手紙みたいな雰囲気、手書きがはがきで送られてきたということでしょうか。

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議会事務局議事調査担当係長 ちょっと前に失礼します。

[応募作品現物を委員が確認]

(「あ、現物があるんだ。手書きなんですよね。」と土光委員)

はい。

○岡村委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 今回、6月号の写真というかトップを選ぶんですけども、今回応募いただいている中で、季節感をどの程度重視するかというところで、過去の応募作品の中で6月の撮影のものも選択肢に入れるか、この中から選んでいくかというあたりを整理してみるのもいいかなと思

うんですけども、いかがですかね。

**○岡村委員長** 矢田貝委員からそういうふうな御意見が出されましたけども、皆さんどのようにお考えでしょうか。とりあえず、今回応募の6点の中から選んでみて、それでもやはりどうかというところがあれば、過去の6月の分を含めてやるという2段構えでやったらどうかというふうに思いますけども、どういたしましょうか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○岡村委員長** それじゃ、とりあえず今回応募のございましたこの6点の中から最もふさわしいものがないかどうかということで、これまでどおり一つずつ挙手で選んでいただきたいというふうに思います。

では、1番の米子城に賛成の方。

〔賛成者挙手…前原委員〕

**○岡村委員長** はい、お一人。

次、2番の夕暮れの米子大橋。これは、なし。

3番のGPSお絵描きラン、よこ顔。なし。

4番の残雪残る山陰の伯耆富士大山。

〔賛成者挙手…安達委員〕

**○岡村委員長** これが、お一人。

次に、5番の水面に映える大山。なし。

では、6番の紫陽花を見る。

〔賛成者挙手…矢田貝委員、土光委員〕

**○岡村委員長** 二人、はい。ということで、いずれも過半数というものに達しておりませんということになると、やはり先ほど矢田貝委員が言われましたような過去の6月のふさわしいものというものの中から選んでいくということにさせてもらってよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会議事務局議事調査担当係長** 確認をさせてください。過去の6月のものというのは、撮影等をされたのが6月のもの、もしくはこれまで6月号に応募されていたものか。でも6月号に応募されていたものも、このたびみたいに2月に撮影されたり3月に撮影されたりしているものがあるので、6月に撮影された過去のものというようなとらえ方でよろしいでしょうか。

**○岡村委員長** 過去、6月に撮影されたものを再度検討すると。検討材料の組上に載せるということでもよろしいでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 5月のも含めていいのではないかと。3か月に一回だから、4月はどうなのかな。6月だけじゃなくて、少なくとも五、六くらいを候補に挙げたらいかがでしょうか。

**○岡村委員長** 佐藤係長、それはピックアップは可能でしょうか。5月、6月のは。

**○佐藤議会議事務局議事調査担当係長** もし、今日これから決められるのであれば、今日お配りしているような形のちょっと印刷したものにはなるんですけど、過去の作品は全部ここにございますし、もし今日はということで、また改めて印刷して配ってほしいということであれば、4月閉会中の委員会の間でも。まだ6月号は間に合いますけども。今日決められますか。その辺を協

議していただけたらと思います。

○岡村委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 あとで皆さんで集まって、今、佐藤さんがお手持ちのものから選ばせていただいてもいいんじゃないでしょうかと思うんですけど。

○岡村委員長 矢田貝委員のほうから今、皆さんそろって過去のものを見て選んだらどうかという御提案いただきましたけれども、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○岡村委員長 では、そういうふうな扱いでよろしくをお願いします。それでは、表紙の選定についてはまた最後に移したいと思いますのでよろしくお願いします。

次に、市議会だよりの表紙応募作品の佳作の掲載について協議いたしたいと思います。前回の委員会で引き続き協議するとしておりましたけれども、委員の皆さんから何か御提案等ございましたでしょうか。

門脇委員。

○門脇委員 会派に持ち帰りまして、相談をいたしました。いろいろ意見が出ましたけれども、前回の委員会でやっぱり様々な課題が浮き上がってきて、なかなかやっぱりこれを解決しながら佳作を選ぶというのは難しいなということで、回り回って元に戻りまして、これまでどおり表紙の応募作品については一発勝負でそれを掲載する。ですから、佳作は一応なしでいいんじゃないかということになりました。

○岡村委員長 今、門脇委員のほうから会派でそういうふうな協議を行われたという御報告がございましたけれども、ほかの委員の皆さん、いかがでしょうか。貴重な御提案をいただきました田村委員さん、どうでしょうか。

田村委員。

○田村委員 私の思いとしては、そういうモチベーションというかチャンスが広がるということで、創作意欲といいたし、あと市議会だよりに目を向けてもらう機会というか、そういう雰囲気ができるんじゃないかというふうに思って提案したんですけれども、やはりスペースのことであるとか、いろいろお手をかけるということと、今回もそうなんですけれども、表紙を選ぶのにやはり時間がかかってしまうという中で、佳作というところまで手が回るというよりは、委員の皆様や事務局にも御迷惑をかけるのかなというような思いもございまして、これについては私としても会派の話し合いに従って取り下げさせていただきたいというふうに考えました。御迷惑をおかけしましたということで。はい、以上です。

○岡村委員長 田村委員からは貴重な御提案をいただいたわけですが、なかなか、じゃこういうふうにしようということにまとまりませんでしたので、一旦、これは白紙に戻すということで、取り扱いをさせていただきたいというふうに思います。よろしくお願いします。

次に、議会報告会の開催について協議いたします。

前回の委員会で、3月定例会会期中に、開催するのかどうかを決める、そして開催するのであれば新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮し、会場、日程、開催方法等について決定する、このようにしておりましたが、委員の皆様から何か御提案等ございましたでしょうか。

安達委員。

○安達委員 会派で話し合ったんですけれども、いろいろ意見が出たんですけれども、結論から

言いますと、今も全国的に状況が、コロナ感染対応ということですずっと議論してきましたけれども変わらんじゃないかという、会派の話し合いで出ました。それで、その中でいろいろ意見の中に、自分が受け止めたのは、議会が主催するこういった事業で、そこから感染が出たということになると大変責任が重たいことになりゃへんかと。そういうところを踏まえて、今一度開催については慎重であってほしいなという意見がありましたということをお伝えします。

**○岡村委員長** 今、安達委員のほうから会派の議論の様子を出していただきまして、今一度やっぱり慎重に議論すべきじゃないかといったことだったと思いますけれども、そのほか皆さんのほうからはありませんでしょうか。

田村委員。

**○田村委員** 私どもの会派で、この件について話し合いをいたしました。7月ぐらいをめどにということで今のコロナの状況の様子を見ながら慎重に判断をしていこうという話があったんですが、やはり変異株とかいろんなことがそのあと出てきまして、やはりちょっと難しいのかなというような状況にあるという判断になりました。で、まあ、そこでと言ったらおかしいんですけども、私は10年以上前から三重県の四日市市の市議会議員の豊田先生という方と懇意にしております、その先生と話をする中で、豊田先生の地元の四日市市四郷地区というところの、いわゆる回覧板といいましょうか、広報紙というものの写真を送っていただきました。その写真によりますと、結局四日市市議会でのこの市政報告会というのは今回、コロナ禍ということもあってYouTubeに動画を上げるという内容でございました。しかも、各委員会の委員がやると。これまで、私どもは南部だとか中央だとか分けて、地元の議員がというような形だったんですが、そうではなくて委員会に分かれてそれぞれの委員会が所管している重要案件等についての説明をするというものの動画を作成してYouTubeに公開する。その御意見についてはメール等で随時受付をするというようなやり方をされているんだそうです。これについては、非常に勉強になるなというふうに思いまして、ぜひこれは米子市でも同様のやり方を、パクらせていただこうかというふうに思いまして、委員の皆様方にその写真を今、お配りをしております。よろしく御審議ください。

**○岡村委員長** ありがとうございます。今、配っていただいているので。今、田村委員のほうから出された四日市市議会のYouTubeを通じての動画配信という形の提案がございました。こういったことも含めてまた御検討していただきたいと思っておりますけれども、そのほか皆さんのほうからありませんでしょうか。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 田村委員に紹介いただいたYouTubeというところは、私も何市か検索していく中で、コロナ禍の議会報告会というところで様々工夫されているなというふうに気づいたんですけども、委員会ごとに今年どういったことを市民の皆様へ報告していこうか、前進させようかっていうテーマをもって取り組んだ中の委員会ごとの議会報告のあり方っていうのを、やはりされている議会がありました。滋賀県の彦根市もそうでした。それから静岡県掛川市もそのような形になっておりまして、全議員が議会報告会に向かっていくという形としてはとてもいいなというふうに思いました。私たちの任期中の議会報告会の考え方なんですけれども、そろそろ次に引き渡していくのにどこまで準備ができるのか、開催ができるのかというような判断がずるずると引っ張ってしまっているところがあるんですけども、議会報告会を開く開かない、どのよ

うに開くのかというところの議論は、コロナの中でなかなか進まないと思うんですけども、議会報告の資料をきっちり作成をして、毎年米子市議会として報告を市民に向かって発信しているというものは、最低限、私たちの期の中で準備なりできるのではないかなというのが私の今の意見なんですけども。コロナでできませんっていう報告までしかホームページでも出ていないので、何らかのまとめた資料なりは発信していくべきかなっていうふうには考えますがいかがでしょうか。

**○岡村委員長** ありがとうございます。そのほか、御意見ございませんでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 私としては、今、少なくとも山陰両県、鳥取、米子、コロナの状況は、感染者もしばらく出ていないし落ち着いている状況だと思います。ただ、これが7月、8月どうなるか、それは分かりませんが、でも今そういう状況なので、私はやるという方向で進めていけばいいのではないかと。ただ、状況が変化してなかなか開催が難しいとなれば、その時点で中止という判断も含めてすればいいことであって、今の段階でやらないというふうには決める必要がないのではないかと。それから、この議会報告会というのは、もちろん議会の報告会だけど、やはり市民から見ると議会に対していろんな思いを直接伝える場という位置づけが私はあると思います。そういった意味で、状況が許す限り実施するという考え方がいいのではないかと私は思います。

**○岡村委員長** 土光委員からは、やる方向で、議会に市民の皆さんの思いを伝える場として、やっぱりやる方向で検討したほうが良いという御意見でございましたけども。ただ、もう3月の議会の最中ですけども、これをやるかやらないかということ、これまでもずっと引きずってききましたけども、これからも引きずるというわけにはちょっともうならないという時期に来ていると思います。そういう状況の中でやるとすればこういう方法でやったらどうかといったこと、やらないならもうやらないということを決めるということに、今日の委員会としてはある程度きちんと方向性を決めていきたいというふうに思いますけども、皆さんいかがでしょうか。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 慎重にということ、開催は慎重なんだけど報告はやるっていうところは皆さん共通だと思いますので、どのような形で報告ができるのか、もしくは会として開催できるのかという、その前向きに進むということ、確認をこの中でしようっていう委員長の御発言ですか。

**○岡村委員長** 今、土光委員からもやるという方向でという御提案があったんですけども、やるとすれば具体的にどういった形で今できるのかといったことをある程度決めておかないといけないというふうに考えております。今は従来通りの、例えば4か所の公民館でやるということをやってきましたけども、そういうものじゃなくて、例えば大規模な施設で1か所に集中して開催するとか、そういう具体的なことっていうものをある程度決めておかなければいけないと、そういう時期に来ているんじゃないかというふうに思いました。そして、そういう方法じゃなくて、今、こういう動画配信も含めて、こういう方法で情報を発信したらどうかといった御提案もございました。いずれにしても、今日、どういう方法ですのかということだけは決めておきたいというふうに思ったところです。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** すみません、まとまりのない意見になるかもしれませんが、3段階で提案をさせていただきたいと思います。まず、最悪コロナの関係で開催ができなくなったとしても、

書面での報告資料というものは議会のホームページの中でアップしていく、そのための準備は進めていくことができるというふうに思います。そして、感染対策を取りながらの開催なので、従来通りではなくて大きな会場で1回のみ、少人数になっても開催をしていくということを検討し、そのものを期間限定でY o u T u b eで発信するっていう、Y o u T u b eがどんなに見やすいものか分かりませんが、検索等でほかの議会を見る中で、期間をある程度定めて発信をされている議会もあったようですので、そういった方法でいかがかなと思ってみるんですけど、皆さんの御意見を聞いてみたいと思います。

**○岡村委員長** 今、矢田貝委員から、まず書面報告を作成するといったところから始まる3段階での御提案というものがございました。皆さんのほうから何か、それを含めて御意見ございませんでしょうか。

田村委員。

**○田村委員** 今の矢田貝委員の御発言に私も賛成でございまして、要するに人が集まるということがいろんなリスクがあるということで逃げられるものではなくて、やはりこういう資料については準備は粛々とできるわけですし、ホームページ上でこの報告会に替えて出すということも一つ、これは放っておいたってできることだと思いますので、これからは逃げられない、やるべきだというふうに思います。土光委員のほうから開催というふうな御意見がありましたけれども、やはり今の現状の中で、人に聞いてもらえなければこれは全く意味がない、大きい会場でってなってくると今度はしゃべる人がかなり限られてしまうというようなことを考えましても、非常に調整がしんどいのかなと。あと、時間も長時間になるのかなと、いろいろ考えたりします。かといって、今までどおり4か所であるということも、これも非常に現状では難しいというふうに考えると、矢田貝委員のおっしゃったのは、まずこれは最低限、資料の提示。この資料に基づいて、さらに分かりやすく口頭で、この四日市の件がそうなんですけれども、それについてさらに分かりやすく資料に基づいた口頭説明をした動画というのは、これは簡単にできます。何なら私、編集して差し上げてもいいぐらい。録画したやつに文字入れてというのは簡単なことですので、これはいくらでもできるかなと。Y o u T u b eに上げるのもタダですので、そこまでの2段階は最低限出来るというふうに私は考えますので。あとは各常任委員において何のテーマを、今市民が聞いたがっているだろうということを協議しながら、この委員会でもまとめて、日にちの設定、いつからアップするとか、資料、動画ということを決めていけばいいんじゃないかと。これに関する障壁は一切ないというふうに考えます。以上です。

**○岡村委員長** 門脇委員。

**○門脇委員** 私も田村委員と同じ考えなんですけど、冒頭で安達委員が言われましたように、やっぱり今は落ち着いていても、この先不透明なところがあって、変異株はどうなるだろうとか、不安があるところで、言われたようにちょっと会場にて議会報告会をやるっていうのはちょっと一抹の不安を覚えますので、やはり今、田村委員が言われたような方法がいいのではないかと思います。

**○岡村委員長** 尾沢委員。

**○尾沢委員** 今、門脇さんの言われたような流れで今年はやらざるを得んのではないかなと思いますけれども、具体的にはね。様子を見たいと思います。

**○岡村委員長** 今、いろいろ御意見いただきましたけれども、やはりちょっと不安を抱えながら

の開催ということは、今の時期なかなか議会として責任をもって開催するということにはなりにくいのかなというふうに私、個人的には思いました。そういった点で、今、田村委員が御提案されましたY o u T u b eなどを活用した、そうした発信ということで今回検討して、まず最初は資料をつくっていくといったところから始まりますけども、そういったことで進めていくということで今回、今日の委員会では確認したいというふうに思いますけども、それでよろしいかどうか、皆さんからまず御意見をいただきたいと思います。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 私も、はいです。今、進むということ、それから対面ではない発信の仕方でもやる。もう一つ、委員会ごとという単位がテーマとして絞りやすくなるのかなというヒントもありました。そこだけで、やりたいっていうお考えを土光委員もお持ち出したので、そこを御理解いただけるのであれば、対面で市民に方に向かっての開催は今年度はしないという確認だけ取っておけば、また次に委員会の話が進みやすいと思うんで。私は、はいということです。

**○岡村委員長** 土光委員、いかがでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 対面でというのは重要だと私は思っているのですが、皆さんの体制のお考えがそうならば、あえてこれ以上は言いません。

**○岡村委員長** ということで、今の状況の中でやはり対面での会場での開催というのは、どうしても不安が拭いされないというところがありますので、新しく今回提案が出されましたY o u T u b eでの発信というところも含めて、今後資料収集、それから作成というふうな段階に移っていくということを確認してよろしいでしょうか。

佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** ちょっと確認をさせていただきたいんですけども、今の時点で、どなたか委員さんの頭の中で、どのくらいのスケジュール、いつごろまでにはホームページ等にアップしたいとかってというようなスケジュール感ですね、はどうでしょうか。といいますのも、御存じのように6月にはこのメンバーもチェンジして、ほかの委員じゃない皆さん、議員さんにも了承しておいていただかないとももちろんいけなくて、新しい委員会で今度またY o u T u b eの撮影をしてという流れになるのか、これからはぱっと進めていって、委員が替わるまでにするおつもりなのかというところをちょっと確認させていただいてもよろしいでしょうか。

**○岡村委員長** 時期的なもの、スケジュール感、どうとらえるかということだろうと思いますけれども、どのようにお考えでしょうか。今3月で、6月になるとそれぞれ委員会も構成員を変えるということになります。この広報広聴委員会も含めて替わるという形になりますので、そこら辺を含めてどういうふうにお考えなのか、もし御意見があれば。

田村委員。

**○田村委員** 肌感覚といいましようか、もうこれは6月までに終わるというふうに考えます。その資料がどのくらいのボリュームでやろうかな、そこが肝だと思んですけども、例えばあまり長い動画だと市民の方には見てもらえませんが、例えば10分程度でさくっとわかるような形の資料であれば、今、本市が取り組む重要施策のうちのこれとこれと、ま、これくらい、3つくらい、2つかというようなピックアップをして、資料、いわゆるパワーポイントをつくって、そこに声がかかるというような形であれば、私は5月にはもう終わっているというふうに考えま



す。動画の作成も、録画を10分程度、各委員会で、これ3つですので、佐藤さんがされるのか私もお手伝いできるのか分かりませんが、そんなの数十分で終わります。アップも、いわゆるYouTubeのチャンネルといいましょうか、ホームとなるアカウントを議会事務局さんのほうで取っていただきさえすれば、そこにアップするということですので、これは次の広報広聴委員の皆さんに引き継ぐことではないというふうに私は考えます。以上です。

**○岡村委員長** 今、田村委員のほうから今の任期中に実務的にもできるんじゃないかというふうな御提案、いろいろ技術的なことについてはぜひお力を発揮していただきたいというふうに思いますけれども、とにかくそういう形で、私たちの任期中にそういった一つの形としてアップできるようなものを作っていくということで、作業を進めていくということによろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** じゃ、そういったことで、今後またいろいろこういうスケジュールでということをお示ししていきたいというふうに思いますのでよろしくお願いします。

それでは、ほかに何かなければ元に戻って表紙の選定ということで、過去のものについて皆さんと一緒に見ていただきながら決めていきたいというふうに思いますので。

暫時休憩いたします。

**午後1時38分 休憩**

**午後1時45分 再開**

**○岡村委員長** それでは委員会を再開いたします。

先ほど休憩中に過去の作品から選んでいただきましたけれども、皆さん、令和2年5月に淀江漁港で撮影されました「フグが釣れたよ」といったもので、この作品でいいんじゃないかということになりましたけれども、それを採用させていただいてよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** はい、ではそういうことで今度の表紙には、この「フグが釣れたよ」の写真を採用させていただくということによろしくお願いします。

一応、用意しております議題については以上ですけれども、そのほか何か皆さんのほうから御意見ありませんでしょうか。

田村委員。

**○田村委員** これは事務局にお尋ねするんですけども、今の、5月ぐらいって私勝手に言っちゃいましたけれども、例えば他の常任委員会の委員長さんとか、いろいろ打ち合わせも必要だろうし、何のテーマって絞る過程だったり、そういうのも各委員会が勝手にするんじゃないかと、ある程度統制を取った形でやらないといけないんじゃないかと思うんですが、日程的に問題はなかったんでしょうか。私、言いつばなしで申し訳なかったんですけど。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** そうですね。どのくらいのペースで進めていかれるのか、初めてのことなのでちょっと私も何とも言えないんですが。例えば、以前議会だよりを全部の議員さんが原稿を書かれるとか、そういった皆さんで認識しておいていただきたいこと、皆さんで進めていくようなことは、以前、伊藤委員長さんだった時だと思うんですけども、各派会長・幹事長会議に出かけていかれて、そこで説明をされてという流れもあったりしました。あと、前回の議会報告会の時には、それぞれ資料を作る段階で当初予算のどの部分を載せるかっていうの

は、各委員会から御提案いただいて資料をつくって載せたっていう経緯が確かあったかと思いません。なので、例えばこの委員会からはこの報告をY o u T u b eにアップするというのを各委員会から出していただくのか、広報広聴委員会のほうで提案されて、これでいいですかっていう流れにするのか、その資料にどのくらいかかるのか。あと、広報広聴委員さんの中で役割分担を決められて、どなたが撮影されてどんなシナリオで編集をされるのか。さっき言っておられましたけれども、その辺の役割をどのくらいのスパンで決めていかれるのかとかがやってみないとわからないんですけれども。その辺どうですか、皆さんのイメージの中では、というところですね。

**○岡村委員長** 田村委員。

**○田村委員** 私的に、イメージは4月の21日からの閉会中の委員会であたいの、こういうテーマっていう、できたら今の目下の懸案事項の何点かのうちの2点ぐらいを閉会中の委員会で選んでいただいて、5月17日からの閉会中の委員会ではもう撮影をするという形。その委員会が終わった後に、皆さん、カメラを回すと。で、編集を月末までにやってアップまで持っていくというふうなスケジュール感かなというふうに私は思っております。問題がなければそれでいかがでしょうか。

**○岡村委員長** 今、田村委員から4月の閉会中の委員会までにある程度準備して、そこで実際に撮影とかという段取りにしてはどうかという御提案がございました。また、これにつきましては、正副委員長と、それから事務局でこれからのスケジュールとか役割分担とか、いろいろ決めていかなければいけないことがありますので、そういったところをちょっと相談して、また皆さんにそれをお諮りするという形で進めさせてもらいたいと思いますけれども、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** はい、ではそういう形でまた御相談させてください。

以上で終わろうと思いますけど、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** じゃ、どうも今日は御苦勞様でした。

以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午後1時50分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 岡村英治